

**小泉製麻(株)は、柱脚部防食技術「NEac工法」+「ウレタン注入材」を考案
国土交通省「新たな道路照明に関する技術公募」において「有望な技術」として選定
鋼管柱内外部の腐食を抑え強度を保つ技術を実現**

【技術概要】

鋼管柱(標識・照明・ガードレール・フェンスなど)の柱脚部の腐食しやすい地際(地面と接する部分)の外表面腐食にはNEac工法を、内表面腐食にはウレタン注入材を使用する事で、内外部から腐食の進行を防ぎます。当該技術は、強度を保ち交通安全施設や鋼管柱を長寿命化に繋げる技術です。内表面腐食についても、外表面と同様、地際や穴部からの湿気が原因となり、鋼管柱の内表面腐食も顕在化していることに着目しました。そこで当社の防食技術「NEac工法」に、ある工程をプラスします。対象鋼管内部の空洞にウレタン注入材を充填することにより、内面に空洞がなくなり防食できます。NEac工法単体による防食よりも、ウレタン注入材と共に使用することで、外側と内側からも腐食を防ぎ、さらなる長寿命化を実現します。

当該技術は、国土交通省より既存の交通安全施設などの長寿命化、安全性向上への寄与が期待されると評価されました。また、5つの技術検証結果も出ています(安全性・省メンテナンス性・省コスト性・環境親和性・応用・展開可能性)

【今後の展開】

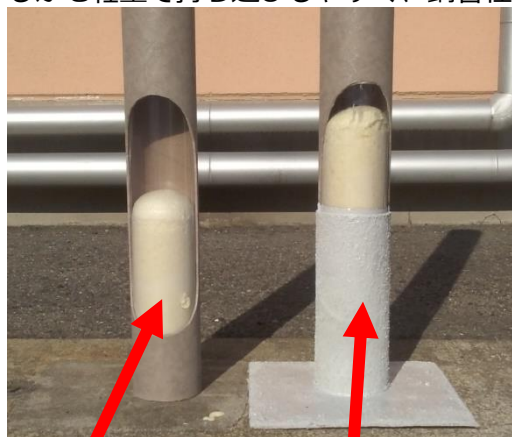
日本政府は、インフラ老朽化対策の目指すべき姿として、「老朽化による重要インフラの重大事故ゼロ」や「適切な点検・修繕などにより行動計画で対象としたすべての施設の健全性を確保する」などを掲げています。当該技術は、標識・照明・ガードレールや遊具まで幅広くそして、複雑な形にも対応できます。また、低コストで既存鋼管柱などに寿命の伸長ができ、老朽化を抑えられます。今後は当該技術を全国に幅広く知っていただくことに注力していきます。

【NEac工法について】【特許番号：6717504】2020.6.15 特許取得

NEac工法(ネアック工法)は、標識・照明・ガードレール・フェンス・道路反射鏡といった道路附属物の柱脚部を特殊成型不織布で防食する工法です。東京都2016年度先進的防災技術実用化支援事業に採択。

【ウレタン注入材について】

袋内で2液を混合し流し込むだけで、短時間で発泡し約2時間で完全硬化。セメントの代替品になります。しかも軽量で持ち運びやすく、鋼管柱の固定や防食に使用できます。



【価格】オープン価格



ウレタン注入材を充填 更にNEac工法を施工 複雑な形にもNEac工法で成型可能

■会社概要	商号	: 小泉製麻株式会社	代表者	: 取締役社長 小泉康史
	所在地	: 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号		
	創業	: 1890年(明治23年)6月 『創業130周年』		
	事業内容	: 産業用繊維製品・緑化土木資材・農業資材などの製造販売		
	URL	: http://www.koizumiseima.co.jp		